

Revision : 11.00.43

Release : Aug. 2022, ヤマハ株式会社

NVR500 Rev.11.00.43 リリースノート

○ファームウェアのリビジョンアップを行う前に必ずお読みください

Rev.11.00.38以降のファームウェアへリビジョンアップを行う際には以下の点にご注意ください。

Rev.11.00.38では以下の変更をしています。

「NVR500 Rev.11.00.38 リリースノート」より、

http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/relnote/NVR500/relnote_11_00_38.txt

[1] 本機にアクセスするときのセキュリティーを強化した。

(9) telnetd hostコマンドでパラメータとしてlanを指定できるようにし、工場出荷状態の設定にtelnetd host lanコマンドを追加した。

Rev.11.00.38以降のファームウェアを使用して工場出荷状態からプロバイダーを設定すると、上記のコマンドが設定されているため遠隔からTELNETでログインができなくなります。

遠隔からTELNETでログインをする場合はtelnetd hostコマンドの設定を変更してください。

■脆弱性対応

[1] OpenSSLの以下の脆弱性対応を行った。

- CVE-2021-3712 (JVN#99612123)

■仕様変更

[1] 以下の用語を変更した。

- バックアップ経路: マスター経路→メイン経路
- カスケード接続機能: マスター(Master)/スレーブ(Slave)→マネージャー(Manager)
/エージェント(Agent)

ヤマハネットワーク製品における今回の用語変更の詳細については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/notice/terms/terms-change.html>

■バグ修正

[1] ngn typeコマンドをnttに設定したインターフェースで、不正な長さを指定した

Classless Static Route Optionを持つDHCP ACKを受信したとき、リブートすることがある
バグを修正した。

[2] リモートアクセスVPN機能で、クライアント側のIPアドレスをDHCPで割り当てる設定のとき、

dhcp scope bindコマンドで割り当てるIPアドレスを指定しない設定があると、リブートする
バグを修正した。

[3] ipv6 address コマンドを autoに設定し、IPv6 RAを受信した後にこの設定を削除すると
ハングアップし、数分後にリブートするバグを修正した。

Rev.11.00.42以降で発生する。

[4] 不正な多重タグパケットを受信したとき、ハングアップすることがあるバグを修正した。

[5] ISDN回線で、2回目の着信以降にMP接続ができないバグを修正した。

Rev.11.00.42以降で発生する。

[6] データコネクトリモートセットアップ機能で、接続が1分で切れることがあるバグを修正した。

[7] 既に受信したことのあるRAと同じRAを再受信したとき、パケットロスが発生することがある
バグを修正した。

■更新履歴

Aug. 2022, Rev.11.00.43 リリース

以上